
チェックメイト・イズ・ニアー

アルカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チエックメイト・イズ・ニアー

【Nコード】

N7616H

【作者名】

アルカ

【あらすじ】

四年前、義弟を亡くした少年、ヴェインと謎多き「道化師」エルガー。最初エルガーを散々嫌っていた青年と本人の意思にお構いなし・ご機嫌でヴェインについてくる道化の二人を中心とした話。

原点（前書き）

多分、笑いあり、涙あり、恋愛あり、バトルありにする予定です。
感想を是非。

原点

原点

その日は小雨だった。

どんよりした空気の中、鉛色の空から、音も無く、静かに降り続ける雨。

きつと、肌に当たらなければ気付かないだろう。

だが、もし旅人等がいたらたちまちに異変を悟ったはずだ。

温泉がひっくり返ったような、硫黄の匂いがするぬるい雨―通常、そんなものは有り得ないのだから。

―そんな雨には目もくれない少年がいた。

小麦色の髪が頬にへばりつき、雫が垂れている。

もう長い間外にいるようである。

幼さの残る顔に血の気は無い。雨の所為ではなかった。

その目は、今見る事の出来ない、澄み切った青空の色。そして、揺ぎ無い意思を湛えていた。

水が飛び散った。湿った靴より重い、彼の心を映すように濁った泥水が。

「兄さん！！」幼い声が耳に届く。

雨はかき消そうとする様に勢いを増す。

少年は叫び返した。

「シャルルツー！！」

前方に見つけた。大切な探し人を。

雨で霞む碧眼に映したのは、まだ子供と言えるほど幼い少年。

後ろ手に縛られているのが見えた。

白銀色の髪が風になぶられている。

その目は暗い。そして、右目が前髪に隠れてうかがい知れない。
が、恐らく恐怖に染まっっているであろう事は見て取れる。

「今、行く！」

だがそれだけではないようだった。

子供―弟が叫んだ。

「着ちや駄目だあ！！」

稲妻が轟いた。雷の光が目を焼く。

目眩がした。

地面から湧いて出たように青年が立っていた。

体格が良く、少年を一捻りにできそうだった。

だが、一捻りにした記憶しかなかった。

再び雷鳴が辺りを支配した。

最後に見たのは、笑っているのか泣いているのかも分からない弟
の顔。

口から大量の血を流し、その胸には刃こぼれの激しいナイフが突
き刺さっている。

笑おうとしているのか、口元を僅かに上げ、

「…ごめん…ね兄さん…さ……よ…な」

目尻から雨とは違う水滴が落ち、けれど最期に少年の為に笑おう
としていた。

弱々しく伸ばされた手が空しく空を握り―落ちた。

そして、風に前髪がなびいてあれほど隠したがっていた右目が―
瞬、露出する。

直ぐに閉じられてしまった瞳の色は―

「うわああああああああああああああああああああああああああああ

あ
」

「ヴェインー。ヴェイン君」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7616h/>

チェックメイト・イズ・ニアー

2010年10月24日13時45分発行